

【記入例】伐採後に森林以外の用途に供されることとなる場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

平成 30 年 4 月 20 日

岐阜市長 様

伐採した森林が所在する市町村
に提出

法人の場合は法人
登記印、個人の場合
は認印(ただし、個
人で自書の場合は
押印省略可)

住所 ○○市△△町3-2-1

報告者 森林 花子 印

提出日は造林期
間の末日から 30
日以内

平成 29 年 10 月 1 日に提出した伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林の状況報告書を作成し、提出いたします。

- ・伐採箇所ごとに報告書を作成
- ・複数地番にまたがる場合は該当する地番を全て記載

1 森林の所在場所

岐阜市 大字	字	地番
--------	---	----

全ての地番の合計面積を記載
小数点以下 2 位まで記載(3 位以下四捨五入)

2 伐採の実施状況

伐採面積	0.50 ha		
伐採方法	皆伐 ・ 択伐	伐採率	100 %
伐採樹種	ひのき		
伐採の期間	平成 30 年 3 月 12 日～平成 30 年 3 月 30 日		

届出書の
「伐採の
計画」に
従ったも
のとする

3 伐採後の造林の実施状況

届出書に記載した期間に収める

	造林の 方法	造林の 期間	造林 樹種	樹種別の 造林面積	樹種別の 造林本数
人工造林					
天然更新					

記載不要

4 備考

伐採後に宅地造成を予定(転用予定時期:平成 30 年 8 月)

伐採後の用途が森林以外(転用)である場合、
その用途及び時期を記載

注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 氏名を自署する場合には、押印を省略することができない。
- 3 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 4 面積は、小数第 2 位まで記載し、第 3 位を四捨五入すること。
- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 7 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 8 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 9 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。